

いつでも



どこでも



何でも



SSF アクティブ チャレンジ

スポーツで元気なまちづくり

SSFアクティブチャレンジ～スポーツで元気なまちづくり～は、運動・スポーツを通じた健康づくりや、まちづくり関係者のコミュニティづくり、地域の課題解決のきっかけとして活用いただく事を目的とした、住民総参加のスポーツプログラムです。



住民総参加の運動・スポーツプログラムの実施を支援

いつでも

毎年4月1日～1月31日
の期間であれば
開催期間は自由！

どこでも

開催自治体内であれば、
**場所は
どこでもOK！**

何でも

運動・スポーツであれば、
**どんな種目・
競技でもOK！**



スポーツで地域の社会課題の解決にチャレンジする

住民総参加プログラムの実施を支援

実施例



障害理解の
促進

在住外国人
との交流



働く世代の
まちづくりへの
参画

子育て支援



防災意識の
向上



アクティブチャレンジについてご興味をお持ちの自治体および
ご関係者の方は、オンライン面談のサービスをご活用ください。

オンライン相談は
こちら



SSFアクティブチャレンジの 実施自治体を募集します

実施期間

毎年4月1日～1月31日の期間で自由に設定

実施例)

デイリー実施… 5月28日など
ウィークリー実施… 5月26日～6月1日など
マンスリー実施… 毎月最終水曜日など

実施主体

各自治体の実行委員会

行政のスポーツ課・健康福祉課・観光課等、スポーツ関連団体、商工会、学校、町内会などで構成

種目・競技

運動・スポーツに関するプログラムであれば、種目・競技は不問

SSFアクティブチャレンジ実施に必要な経費を総額の80%まで助成

実施形態Ⅰ

住民 総参加型

要件

- 1 性別・年代問わず、住民誰もが気軽に参加できるように、対象者、実施時間、実施場所が異なる複数のスポーツプログラムを実施する。
- 2 住民総参加を目指して住民に広く呼び掛ける。
- 3 運動・スポーツを実施していない人を対象としたプログラムを実施する。
- 4 期間中の参加者数（延べ参加者数で可）を集計する。
- 5 事業の実施に当たり実行委員会を組織する。
(委員長は首長でなくてもよい)

助成金

最大 **200,000円**

実施形態Ⅱ

社会課題 解決型

要件

- 1 実施形態Ⅰの要件を満たす住民総参加型のプログラムを実施する。
- 2 スポーツプログラムの1つ以上を、スポーツを通じて地域課題の解決に寄与するプログラムとして実施する。

助成金

人口35,000人未満 > 最大 **500,000円**

人口35,000人以上 > 最大 **600,000円**

<お問い合わせ先>
公益財団法人笹川スポーツ財団
アクティブシティ推進グループ
アクティブチャレンジチーム
〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル3階
Email : a-challenge@ssf.or.jp

オンライン相談はこちら

<https://www.ssf.or.jp/dotank/activecity/activechallenge/about/followup.html>

